

# 免税販売管理システム

## A P I 仕様書（ドラフト版）

（令和 8 年 11 月 1 日以後譲渡日分）

本 API 仕様書は、「令和 7 年度税制改正の大綱」（令和 6 年 12 月 27 日閣議決定）において示された税制改正の内容（「輸出物品販売場制度の見直し」（リファンド方式への見直し））に沿った消費税法令の改正案が成立し、施行された場合の免税販売管理システムの API 仕様を説明するものであり、リファンド方式への見直しについては、国会審議を経ることが前提となることにご留意ください。

2025 年 1 月

0. 1 版

改版履歴

項番	版数	日付	変更内容	変更理由
1	0.1	2025/1/17	新規作成（ドラフト版）	令和7年度税制改正の大綱において、輸出物品販売場制度の見直し（リファンド方式への見直し）に対応するために、購入記録情報バージョン3、税関確認結果照会の追加インターフェースについて、令和8年11月1日以後譲渡日分のドラフト版を新規作成。

## 【目次】

1	概要	1
1. 1	はじめに	1
1. 2	イメージ図	2
1. 3	フロー図	2
2	通信回線	3
3	API 一覧	3
4	購入記録情報 API	4
4. 1	HTTP リクエスト	4
4. 1. 1	基本的事項	4
4. 1. 2	インターフェース定義	5
4. 1. 3	留意事項	5
4. 1. 4	イメージ	6
4. 2	HTTP レスポンス	7
4. 2. 1	基本的事項	7
4. 2. 2	インターフェース定義	7
4. 2. 3	チェック	7
4. 2. 4	受信結果通知	8
4. 2. 5	留意事項	9
4. 2. 6	イメージ	10
5	税関確認情報 API	10
5. 1	HTTP リクエスト	10
5. 1. 1	基本的事項	10
5. 1. 2	インターフェース定義	10
5. 1. 3	留意事項	11
5. 1. 4	イメージ	11
5. 2	HTTP レスポンス	11
5. 2. 1	基本的事項	11
5. 2. 2	インターフェース定義	12
5. 2. 3	チェック	12
5. 2. 4	照会結果通知	13
5. 2. 5	留意事項	13
5. 2. 6	イメージ	14
6	使用可能な文字コード	14
7	制限事項	15
7. 1	利用可能時間	15
7. 2	利用可能な電子証明書	15
7. 3	参照可能な税関確認情報	16

## 1 概要

### 1. 1 はじめに

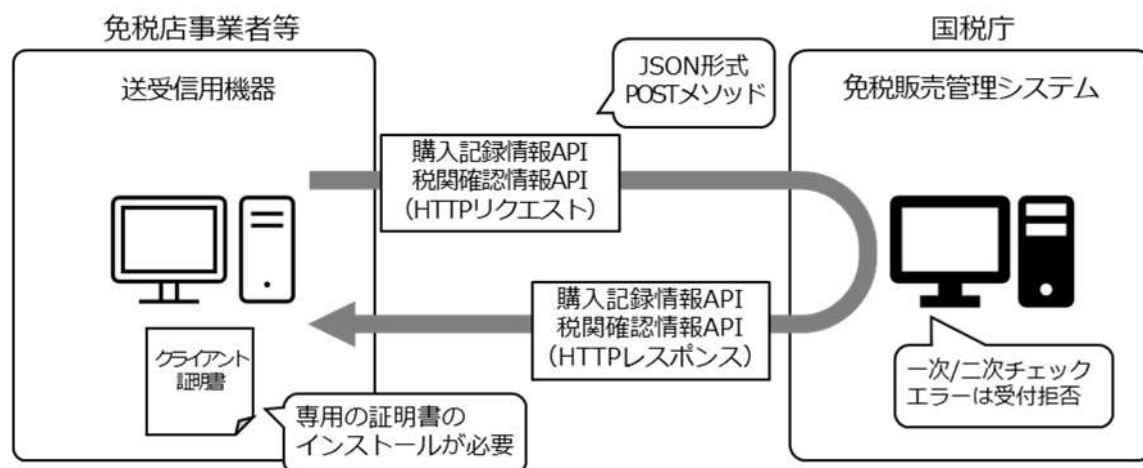
本仕様書は、令和 7 年度税制改正の大綱四 1 外国人旅行者向け消費税免税制度（輸出物品販売場制度）の見直しに示された方針に基づき、輸出物品販売場等を経営する事業者又は承認送信事業者（以下「免税店事業者等」といいます。）が、①国税庁へ購入記録情報を提供する方法、②税関確認情報を国税庁から提供を受ける方法について説明するものです。

なお、本仕様書は「令和 7 年度税制改正の大綱」に示された方針（リファンド方式への見直し）に沿って、免税販売管理システム（以下「本システム」といいます。）の API 仕様について説明するものであり、リファンド方式への見直しについては、国会審議を経ることが前提となることにご留意ください。

表 1. 1 用語の定義

用語	仕様書における定義
輸出物品販売場等	税務署の許可を受けて、免税対象物品の譲渡を行う販売場（消費税法に規定する輸出物品販売場、臨時販売場及び租税特別措置法に規定する輸出酒類販売場）をいいます。
承認送信事業者	税務署の承認を受けて、輸出物品販売場等を経営する事業者 に代わり、購入記録情報の提供を行い、税関確認情報の提供を受ける事業者をいいます。
免税店事業者等	輸出物品販売場等を経営する事業者又は承認送信事業者のことをいいます。
購入記録情報	免税対象物品を譲渡した際に、国税庁に提供する電磁的記録で、外国人旅行者等の旅券等の情報、販売場の情報、対象物品の情報等から構成されます。本仕様書においては酒類購入記録情報を含みます。
税関確認情報	購入記録情報に基づき、外国人旅行者等が免税対象物品を輸出することについて、税関から受けた確認結果をいいます。税関確認情報については、税関から国税庁に提供され、国税庁から輸出物品販売場等、承認送信事業者に提供されます。
免税販売管理システム	購入記録情報の提供を受け、税関確認情報の提供を行う国税庁の使用に係る電子計算機をいいます。
識別符号	輸出物品販売場等の許可、承認送信事業者としての承認を受けた際に、税務署から通知される輸出物品販売場又は承認送信事業者を一意に特定するための 21 桁の数字をいいます。
国税庁認証局	国税庁から外部委託された認証局事業者により運営されるクライアント証明書の登録、発行、失効等を行う機関をいいます。

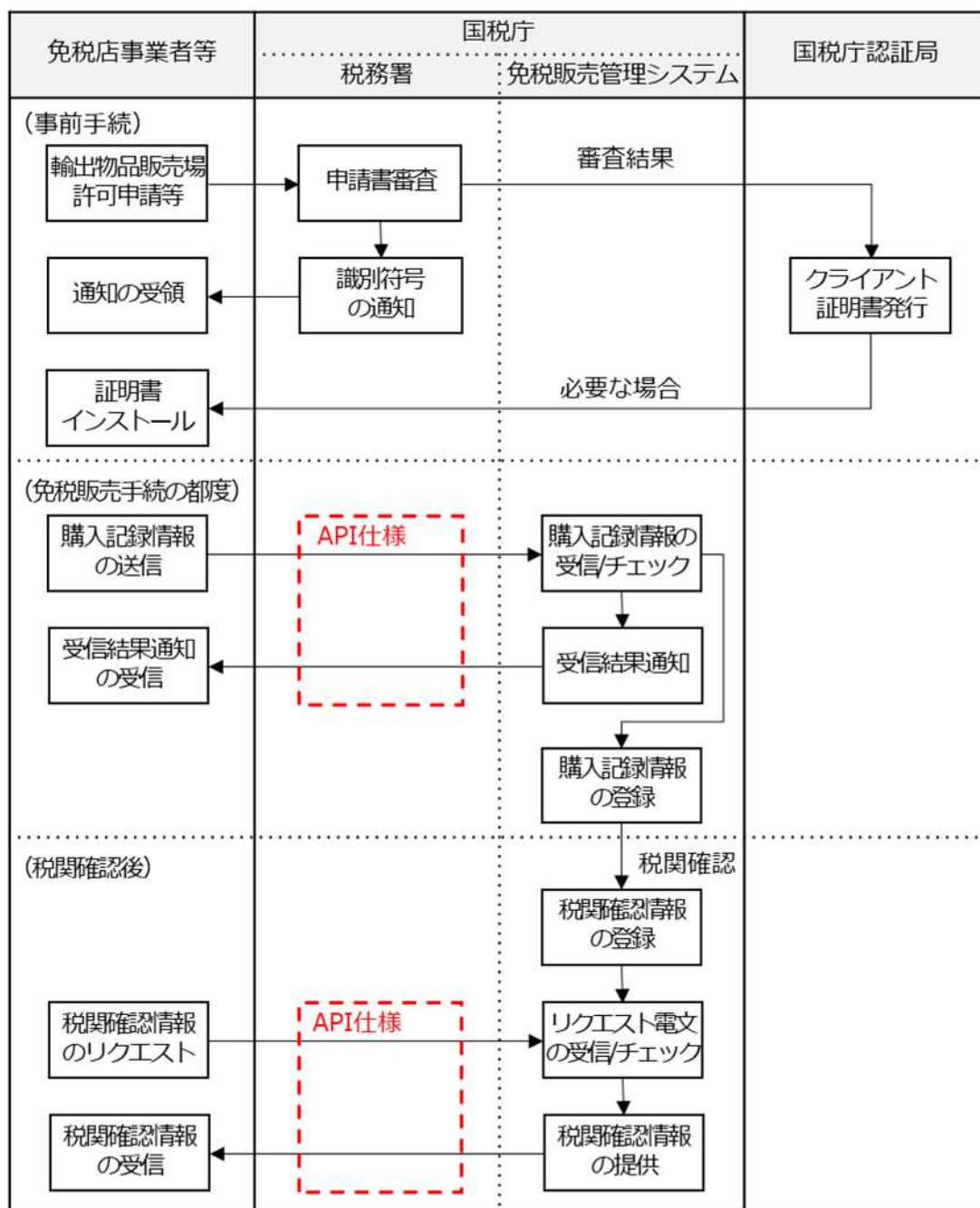
## 1. 2 イメージ図



## 1. 3 フロー図

免税店事業者等が国税庁へ購入記録情報を提供し、国税庁から税関確認情報の提供を受けるために行う手続等のフローです。

事前手続については、大別すると、①輸出物品販売場等、承認送信事業者を一意に特定するための識別符号の通知を受けること②本システム専用のクライアント証明書を取得し、送受信機器にインストールすること（送受信機器を有する場合のみ）の2点があります。



## 2 通信回線

本システムと連携するための通信回線は、インターネット回線によるほか、国税庁が用意した IP-VPN 回線によることもできます。

IP-VPN 回線の利用に関する手続については、国税庁ホームページでご確認ください。

なお、IP-VPN 回線を利用する場合、国税庁が契約した IP-VPN 回線業者との契約及び費用負担が生じます。

## 3 API 一覧

本システムと連携するための API の一覧は以下のとおりとなります。

表3 API 一覧

項番	API 名	受付期間	別紙	説明
1	購入記録情報 バージョン 1	令和 2 年 4 月 1 日 ～ 令和 9 年 4 月 30 日	別紙 1－1～ 別紙 6－1	・ 本仕様書における説明の対象外。 ・ 譲渡年月日が令和 8 年 10 月 31 日以前の場合に使用。（令和 9 年 4 月 30 日まで受付可能）
2	購入記録情報 バージョン 2	令和 3 年 10 月 1 日 ～ 令和 9 年 4 月 30 日	別紙 1－2～ 別紙 6－2	・ 本仕様書における説明の対象外。 ・ 譲渡年月日が令和 8 年 10 月 31 日以前の場合に使用。（令和 9 年 4 月 30 日まで受付可能）
3	購入記録情報 バージョン 3	令和 8 年 11 月 1 日 ～	別紙 1－3～ 別紙 7－3	・ 譲渡年月日が令和 8 年 11 月 1 日以後の購入記録情報を送信する場合に使用。
4	税関確認結果照会 （日時指定） バージョン 1	令和 8 年 11 月 1 日 ～	別紙 A 1－1～ 別紙 A 6－1	・ 税関確認結果を日時範囲指定して、取得する場合に使用。
5	税関確認結果照会 （取引指定） バージョン 1	令和 8 年 11 月 1 日 ～	別紙 B 1－1～ 別紙 B 6－1	・ 税関確認結果を購入記録情報単位で指定して、取得する場合に使用。

#### 4 購入記録情報 API

##### 4. 1 HTTP リクエスト

##### 4. 1. 1 基本的事項

項目	内容等
通信方向	送信（免税店事業者等→国税庁）
通信プロトコル	HTTPS
SSL のバージョン	TLS1.2 以上
実装方式	REST API
リクエスト URL （別紙 1-3 のインターフェース）	（準備中。API 仕様書確定版公開時に記載予定。）（※）
HTTP メソッド	POST
ヘッダー	Content-Type:Application/json; charset=utf-8
データ形式	JSON
文字セット	Unicode

エンコーディング	UTF-8
----------	-------

(※) IP-VPN回線を利用する場合のリクエスト URL については、国税庁ホームページに別途掲載している資料（免税販売管理システム用 IP-VPN 回線利用規約）で確認することができます。

#### 4. 1. 2 インターフェース定義

「購入記録情報インターフェース」は、別紙 1－3 を使用します。項目の説明は以下のとおりです。

項目	説明
分類	データ項目に対するカテゴリ
項目名	データ項目の名称
項目 ID	データ項目に対する物理項目名であり、JSON 形式で設定する項目の名称
項目 ID 略称	<ul style="list-style-type: none"> <li>データ項目の略称</li> <li>別紙 2－3 「受信結果通知インターフェース」の項目「処理結果コード」でエラー箇所を示すための名称</li> </ul>
データ型	<ul style="list-style-type: none"> <li>データ項目の型</li> <li>データ型「日本語」は「6 使用可能な文字コード」の文字を設定</li> </ul>
桁数	データ項目の桁数又は文字数
byte 数	文字コードや論理データ型からバイト換算されたバイト数
必須区分	<ul style="list-style-type: none"> <li>必須項目、条件付き必須項目、任意項目の区分け</li> <li>必須項目は「○」、条件付き必須項目は「△」、任意項目は「」（空白）と、それぞれ表示</li> </ul>
その他の必須条件	データ項目に対するその他のチェック内容
説明	データ項目に対する説明

#### 4. 1. 3 留意事項

##### (1) 免税販売手続の都度送信

購入記録情報は、免税販売手続の都度、遅滞なく送信する必要があります。

免税対象物品を購入した外国人旅行者等が出国の際に税関の確認を受けるまでに本システムで購入記録情報を受信していない場合、当該物品について、税関で購入記録情報に基づき確認することができないため、免税要件を満たしません。

##### (2) 送信した購入記録情報の取消について

送信した購入記録情報に誤りがあり、取り消す必要がある場合は、以下①～③の設定を行った購入記録情報を送信してください。

なお、譲渡日から 90 日を超えた購入記録情報、税関確認結果が登録されている購入記録情報の取消はできません。

① 「登録取消区分」＝「9」

② 「取消前送信番号」、「取消前送信者識別符号」、「取消前販売場識別符号」に



それぞれ取り消したい購入記録情報の「送信番号」、「送信者識別符号」、「販売場識別符号」と同じ値を設定してください。

- ③ 以下の項目については、取り消したい購入記録情報と同じ値を設定してください  
「国籍」、「旅券番号」、「譲渡年月日」、「酒税適用有無（全体）」

なお、取消時における物品情報の設定は任意です。

また、単項目の必須チェックについては、登録する場合の購入記録情報と同条件でチェックするので、必須項目は必ず設定してください。

### (3) 送信した購入記録情報の訂正について

送信した購入記録情報の訂正を行う場合は、上記(2)の当初の購入記録情報を取り消すためのデータを送信した上で、改めて、訂正後の購入記録情報を送信する方法にて行ってください。

### (4) 物品情報の繰り返し回数

購入記録情報は1送信につき200品目までとし、1取引につき201品目以上の免税販売手続を行った商品がある場合には、購入記録情報を分割して作成する必要があります。

この場合、「合計額」、「酒税免税対象販売合計額」、「酒税免税対象酒類総本数」欄には、それぞれ1取引中の合計額及び総本数ではなく、1送信中の「販売価額」、「（酒税）本数」の合計額、総本数を設定します。

また、「酒税適用有無（全体）」に「1（酒税の免税の適用あり）」を設定するか否かの判断は、1取引中ではなく、分割した1送信中に「酒税適用有無（物品）」に「1（酒税の免税の適用あり）」が設定されているものがあるか否かで行う必要があります。

### (5) 物品情報に対応した販売価額の設定

複数の物品を組み合わせて価格設定している商品を免税販売手続する場合の購入記録情報について個々の物品ごとに物品情報の設定を行うときは、個々の物品ごとに「品名」、「販売価額」等の各項目を設定する（販売価額を個々の物品ごとに按分して設定する）必要があります。

### (6) 文字数の上限

「氏名」、「販売場名称」、「販売場名称（英語表記）」「販売場所在地」、「事業者氏名名称」、「事業者納税地」、「伝票番号」、「備考」、「品名」、「単位」、「商品情報詳細」、「商品情報詳細（シリアルナンバー）」については、文字数の上限があります。

文字数の上限を超える場合は、例えば、上限を超える部分を削除する、適宜の簡略表記（「株」等）を行うなどの方法により、文字数の上限以内になるように設定する必要があります。

## 4. 1. 4 イメージ

```
{  
  "senderId": "123456789012345678901",  
  "senderIdType": "0",  
  ... (略)
```

```

"details": [
  {
    "serial": "1",
    "goodsName": "カメラ●●シリーズ黒 NTA-MENZEI001",
    ... (略)
  },
  ... (略)
  {
    "serial": "200",
    "goodsName": "チョコレート「■■」ビタータイプ NTA-MENZEI601",
    ... (略)
  }
]
}

```

## 4. 2 HTTP レスポンス

### 4. 2. 1 基本的事項

項目	内容等
通信方向	受信（国税庁→免税店事業者等）
通信プロトコル	HTTPS
SSL のバージョン	TLS1.2 以上
ヘッダー	Content-Type:Application/json; charset=utf-8
データ形式	JSON
文字セット	Unicode
エンコーディング	UTF-8
改行コード	LF (Line Feed)

### 4. 2. 2 インターフェース定義

別紙 2-3「受信結果通知インターフェース」に示します。

項目の説明は以下のとおりです。

項目	説明
分類	データ項目に対するカテゴリ
項目名	データ項目の名称
項目 ID	データ項目に対する物理項目名であり、JSON 形式で設定する項目の名称
データ型	データ項目の型
桁数	データ項目の桁数又は文字数
byte 数	文字コードや論理データ型からバイト換算されたバイト数
必須区分	必須項目（必ず設定がある項目）の場合は「○」で表示
説明	データ項目に対する説明

### 4. 2. 3 チェック

本システムでは、受信した購入記録情報に対して以下の一次チェック及び二次チェックを行い、該当するエラーコード等がある場合には、その結果を「受信結果通知インタ

ーフェース」の「処理結果コード」にエラーコード等を設定して返却します。

#### (1) 一次チェック（単項目チェック）

- イ データ型や桁数など、単一項目で完結するチェックを行います。
- ロ チェック内容は、別紙 3-3「単項目チェックエラーコード」に示します。
- ハ 単項目チェックは、受信した購入記録情報の全項目に対して行い、全てのエラーコードを返却します。
- ニ データ型が「日本語」の項目は、バイト数のチェックに加えて、桁数のチェックも行います。

#### (2) 一次チェック（関連項目チェック）

- イ 条件付きの必須条件など、複数項目の値からチェックを行います。
- ロ チェック内容は、別紙 4-3「関連項目チェックエラーコード」に示します。
- ハ 関連項目チェックは、単項目チェックが全て正常だった場合に行います。
- ニ 関連項目チェックは、関連チェックエラーコードの先頭 10 桁の種類ごとに行います。

購入記録情報に 2 種類以上の関連チェックエラーが内在していた場合、1 送信につき、エラーは 1 種類のみ返却します。（後続の関連項目チェックは行われません。）

#### (3) 二次チェック

- イ 本システムで保持しているデータとの整合性チェック等を行います。
- ロ チェック内容は、別紙 5-3「二次チェック」に示します。

#### (4) ワーニングチェック

- イ 免税要件を満たしていない可能性が高いもののチェックを行います。
- ロ チェック内容は、別紙 6-3「ワーニングコード」に示します。
- ハ ワーニングチェックは、一次チェック及び二次チェックが全て正常だった場合に行います。
- ニ ワーニングの場合であっても、購入記録情報は各項目に設定された内容で正常に受け付けていますので、訂正が必要なければ、ワーニングへの対応は不要です。（訂正を行う場合は、4. 1. 3(3)に記載した対応を行う必要があります。）

### 4. 2. 4 受信結果通知

本システムでは、受信した購入記録情報に対して所定のチェックを行い、受信結果を返却します。

購入記録情報の送信が正常に終了したか否かについては、HTTP ステータスコードで判定することができます。

HTTP ステータスコードは、別紙 7-3「HTTP ステータスコード」に示します。

HTTP ステータスコード	判定
201	正常終了
470	異常終了（業務エラー）
上記以外	異常終了（システムエラー等）

**(1) 正常終了**

購入記録情報は、本システムで正常に受け付けています。

**(2) 異常終了（業務エラー）**

購入記録情報は、本システムで受け付けていません。

したがって、エラーとなった購入記録情報について必要な訂正を行った上で再度送信する必要があります。

なお、業務エラーは、例えば 21 桁で設定すべき「送信者識別符号」欄が 22 桁ある場合や必須項目である「氏名」欄が空白である場合など、API 仕様に従っていない場合に設定されます。

エラーの内容は、「受信結果通知インターフェース」の「処理結果コード」欄に設定されます。

エラーコードの詳細は、別紙 3－3「単項目チェックエラーコード」、別紙 4－3「相関項目チェックエラーコード」、別紙 5－3「二次チェックエラーコード」に示します。

**(3) 異常終了（システムエラー等）**

購入記録情報は、本システムで受け付けていません。

したがって、原因を解明して再度送信する必要があります。

エラーの原因は、HTTP ステータスコードで判定することができます。

なお、この場合の受信結果通知は、「受信結果通知インターフェース」の「処理結果エラーコード」を含めて、各項目の設定はされませんので、エラーの原因は、上述のとおり HTTP ステータスコードのみにより判定します。

#### **4. 2. 5 留意事項**

**(1) 受信結果通知の返却**

受信結果を返却するまでの所要時間は、おおむね数秒から十秒程度を想定しています。

**(2) 災害その他やむを得ない事情による事後送信**

障害対応に時間を要する場合など、災害その他やむを得ない事情により、免税販売手続の都度、遅滞なく購入記録情報を送信できなかった（事後送信となる）場合、復旧後に速やかに送信してください。

なお、購入記録情報の送信は外国人旅行者等が出国の際に税関の確認を受けるまでに行う必要がありますので、ご注意ください。この場合の事後送信については、「備考」欄に、事後送信である旨及びその要因等を設定して送信します。

また、大規模な災害等の場合、国税庁ホームページで送信時期・送信方法を連絡することがあります。

**(3) テーブルにアクセスできない場合について**

システムメンテナンス中等の場合、テーブルにアクセスできないことにより、取消データの送信ができなくなる場合があります。状態が継続する場合、制限事項、対応について、国税庁ホームページで連絡することがあります。

#### 4. 2. 6 イメージ

```
{
  "senderId": "123456789012345678901",
  "senderIdType": "0",
  "sendNo": "20201231235959001",
  "proceduresId": "A",
  "version": "3",
  "checkDate": "20210101000059",
  "result": "OK",
  "receiveNo": "10123456789012345678",
  "details": []
}
```

### 5 税関確認情報 API

#### 5. 1 HTTP リクエスト

##### 5. 1. 1 基本的事項

項目	内容等
通信方向	送信（免税店事業者等→国税庁）
通信プロトコル	HTTPS
SSL のバージョン	TLS1.2 以上
実装方式	REST API
リクエスト URL （別紙 A 1-1 のインターフェース）	（準備中。API 仕様書確定版公開時に記載予定。） （※）
リクエスト URL （別紙 B 1-1 のインターフェース）	（準備中。API 仕様書確定版公開時に記載予定。） （※）
HTTP メソッド	POST
ヘッダー	Content-Type:Application/json; charset=utf-8
データ形式	JSON
文字セット	Unicode
エンコーディング	UTF-8

（※）IP-VPN 回線を利用する場合のリクエスト URL については、国税庁ホームページに別途掲載している資料（免税販売管理システム用 IP-VPN 回線利用規約）で確認することができます。

##### 5. 1. 2 インターフェース定義

「税関確認結果照会インターフェース」は、別紙 A 1-1、別紙 B 1-1 を使用します。項目の説明は以下のとおりです。

項目	説明
分類	データ項目に対するカテゴリ

項目名	データ項目の名称
項目 ID	データ項目に対する物理項目名であり、JSON 形式で設定する項目の名称
項目 ID 略称	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データ項目の略称</li> <li>・別紙 A 2 - 1、別紙 B 2 - 1「照会結果通知インターフェース」の項目「処理結果コード」でエラー箇所を示すための名称</li> </ul>
データ型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データ項目の型</li> <li>・データ型「日本語」は「6 使用可能な文字コード」の文字を設定</li> </ul>
桁数	データ項目の桁数又は文字数
byte 数	文字コードや論理データ型からバイト換算されたバイト数
必須区分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必須項目、条件付き必須項目、任意項目の区分け</li> <li>・必須項目は「○」、条件付き必須項目は「△」、任意項目は「」（空白）と、それぞれ表示</li> </ul>
その他の必須条件	データ項目に対するその他のチェック内容
説明	データ項目に対する説明

### 5. 1. 3 留意事項

#### (1) 照会期限について

リクエスト期限は、税関確認結果が登録されてから、460 日間となります。税関確認情報を取得し保存しなかった場合、免税要件を満たさないので、ご注意ください。

#### (2) 税関確認結果照会日時指定について

日時指定において、設定できる期間（自至の範囲）は 31 日間となります。31 日間を超えてリクエストする場合は、リクエスト期間を分割したうえでリクエストしてください。

### 5. 1. 4 イメージ

```
{
  "senderId": "123456789012345678901",
  "shopId": "012345678901234567890",
  "customsCheckFrom": "20270101090000",
  "customsCheckTo": "20270101090959",
  "proceduresId": "B",
  "version": "1"
}
```

## 5. 2 HTTP レスポンス

### 5. 2. 1 基本的事項

項目	内容等
通信方向	受信（国税庁→免税店事業者等）
通信プロトコル	HTTPS
SSL のバージョン	TLS1.2 以上

ヘッダー	Content-Type:Application/json; charset=utf-8
データ形式	JSON
文字セット	Unicode
エンコーディング	UTF-8
改行コード	LF (Line Feed)

### 5. 2. 2 インターフェース定義

別紙A 2－1 又はB 2－1 「照会結果通知インターフェース」に示します。

項目の説明は以下のとおりです。

項目	説明
分類	データ項目に対するカテゴリ
項目名	データ項目の名称
項目 ID	データ項目に対する物理項目名であり、JSON 形式で設定する項目の名称
データ型	データ項目の型
桁数	データ項目の桁数又は文字数
byte 数	文字コードや論理データ型からバイト換算されたバイト数
必須区分	必須項目（必ず設定がある項目）の場合は「○」で表示
説明	データ項目に対する説明

### 5. 2. 3 チェック

本システムでは、受信したリクエスト情報に対して、以下の一次チェック及び二次チェックを行い、該当するエラーコード等がある場合には、その結果を「照会結果通知インターフェース」の「処理結果コード」にエラーコード等を設定して返却します。

#### (1) 一次チェック（単項目チェック）

イ データ型や桁数など、単一項目で完結するチェックを行います。

ロ チェック内容は、別紙A 3－1、別紙B 3－1 「一次チェック（単項目）」に示します。

ハ 単項目チェックは、受信したリクエスト情報の全項目に対して行い、全てのエラーコードを返却します。

#### (2) 一次チェック（関連項目チェック）

イ 条件付きの必須条件など、複数項目の値からチェックを行います。

ロ チェック内容は、別紙A 4－1 又は別紙B 4－1 「一次チェック（関連項目）」に示します。

ハ 関連項目チェックは、単項目チェックが全て正常だった場合に行います。

ニ 関連項目チェックは、関連チェックエラーコードの先頭 10 桁の種類ごとに行います。

リクエスト情報に2種類以上の関連チェックエラーが内在していた場合、1送信につき、エラーは1種類のみ返却します。（後続の関連項目チェックは行われません。）

#### (3) 二次チェック

イ 本システムで保持しているデータとの整合性チェック等を行います。

ロ チェック内容は、別紙A 5－1、別紙B 5－1「二次チェック」に示します。

#### 5. 2. 4 照会結果通知

本システムでは、受信したリクエスト情報に対して所定のチェックを行い、照会結果を返却します。

リクエスト情報の送信が正常に終了したか否かについては、HTTP ステータスコードで判定することができます。

HTTP ステータスコードは、別紙A 6－1、別紙B 6－1「HTTP ステータスコード」に示します。

HTTP ステータスコード	判定
201	正常終了
470	異常終了（業務エラー）
上記以外	異常終了（システムエラー等）

##### (1) 正常終了

リクエスト情報は、本システムで正常に受け付け、リクエスト条件と一致する税関確認結果を返却しています。

##### (2) 異常終了（業務エラー）

リクエスト情報は、本システムで受け付けていません。

業務エラーは、例えば 21 桁で設定すべき「送信者識別符号」欄が 22 桁ある場合など、API 仕様に従っていない場合に設定されます。

エラーの内容は、「受信結果通知インターフェース」の「処理結果コード」欄に設定されます。

エラーコードの詳細は、別紙A 3－1 又は別紙B 3－1「単項目チェックエラーコード」、別紙A 4－1 又は別紙B 4－1「関連項目チェックエラーコード」、別紙A 5－1 又は別紙B 5－1「二次チェックエラーコード」に示します。

##### (3) 異常終了（システムエラー等）

リクエスト情報は、本システムで受け付けていません。

したがって、原因を解明して再度送信する必要があります。

エラーの原因は、HTTP ステータスコードで判定することができます。

なお、この場合の受信結果通知は、「受信結果通知インターフェース」の「処理結果エラーコード」を含めて、各項目の設定はされませんので、エラーの原因は、上述のとおり HTTP ステータスコードのみにより判定します。

#### 5. 2. 5 留意事項

##### (1) 「税関確認情報区分」のコード値について

税関確認情報区分として、返却するコードは「1（税関確認済）」と「9（免税不可）」の2種類で、確定した情報のみの返却となります。例えば、外国人旅行者等が税関の確認を受けていない場合については、リクエストに対する照会結果の返却はありません。



## (2) 「税関確認情報登録日時」について

「税関確認情報登録日時」については、本システムの DB サーバにおける更新日時が設定されます。各空海港の端末等で確認を行った日時とタイムラグ（例外的な場合を除き数分程度）が生じます。

なお、日時指定のリクエストについては、「税関確認情報登録日時」がリクエスト条件に設定される自至の範囲内にあるものを検索します。

## (3) 「税関確認結果情報件数」について

リクエスト条件に誤りがなく、結果として 0 件となった場合についても「正常終了」として返却します。

なお、検索結果が 1,000 件を超える場合はエラーとなります。リクエスト条件に該当した件数を返却しますので、期間の範囲を見直したうえで、再リクエストしてください。

## (4) 税関確認結果テーブルにアクセスできない場合について

システムメンテナンス中等の場合、税関確認結果テーブルにアクセスできない場合があります。状態が継続する場合、制限事項、対応について、国税庁ホームページで連絡することがあります。

## 5. 2. 6 イメージ

```
{
  "senderId": "123456789012345678901",
  "shopId": "012345678901234567890",
  "customsCheckFrom": "20270101090000",
  "customsCheckTo": "20270101090959",
  "result": "OK",
  ... (略)
  "customsCheck": [
    {
      "detailNo": "1",
      "senderIdPrm": "123456789012345678901",
      "shopIdPrm": "012345678901234567890",
      "sendNo": "20270101090000001",
      ... (略)
    },
    ... (略)
    {
      "detailNo": "1000",
      "senderIdPrm": "123456789012345678901",
      "shopIdPrm": "012345678901234567890",
      "sendNo": "20270101090959999",
      ... (略)
    }
  ]
}
```

## 6 使用可能な文字コード

本システムが使用する文字コードは、JIS X 0221 を UTF8 で符号化したもののうち、JIS X 0201 と互換性のあるもの（基本ラテン（ただし、文字タブ（0009）、改行

(000A) 及び復帰 (000D) 以外の制御文字 (0000～001F、007F) を除く) ) 及び「平仮名」「片仮名」「CJK 統合漢字」「CJK 互換漢字」「CJK 用の記号及び分音記号」「半角形・全角形」(ただし、半角カナ(FF66～FF9F)を除く)「ラテン-1 補助(ただし、制御文字(0080～009F)を除く)」「矢印」「一般句読点」「罫線素片」「幾何学模様」「基本ギリシャ」「キリール」「数学記号」「数字の形」「囲み英数字」「囲み CJK 文字／月」「CJK 互換文字」とします。

文字種	文字コード
基本ラテン	#x0009、#x000A、#x000D、#x0020～#x007E
平仮名	#x3040～#x309F
片仮名	#x30A0～#x30FF
CJK 統合漢字	#x4E00～#x9FFF
CJK 互換漢字	#xF900～#xFAFF
CJK 用の記号及び文音記号	#x3000～#x303F
半角形・全角形(半角カナを除く)	#xFF00～#xFF65、#xFFA0～#xFFEF
ラテン-1 補助	#x00A0～#x00FF
矢印	#x2190～#x21FF
一般句読点	#x2000～#x206F
罫線素片	#x2500～#x257F
幾何学模様	#x25A0～#x25FF
基本ギリシャ	#x0370～#x03FF
キリール	#x0400～#x04FF
数学記号	#x2200～#x22FF
数字の形	#x2150～#x218F
囲み英数字	#x2460～#x24FF
囲み CJK 文字／月	#x3200～#x32FF
CJK 互換文字	#x3300～#x33FF

## 7 制限事項

### 7. 1 利用可能時間

本システムは、24 時間 365 日購入記録情報の受信、税関確認結果照会リクエストの受付を行います。

なお、システムメンテナンス中等の場合、制限事項が生じる場合があります。この場合、対応について、国税庁ホームページで連絡することがあります。

### 7. 2 利用可能な電子証明書

「3 API 一覧」に掲げる API で使用可能な電子証明書については、「国税庁認証局」において発行するクライアント証明書となります。

なお、クライアント証明書については、購入記録情報の送信、税関確認結果照会のリクエストを行う機器にあらかじめインストールする必要があります。クライアント証明

書発行手続等につきましては、[国税庁ホームページ](#)をご確認ください。

### 7. 3 参照可能な税関確認結果

参照可能な税関確認結果の範囲は、自身が送信した購入記録情報に紐づく税関確認結果又は自身が経営する輸出物品販売場等に係る購入記録情報に紐づく税関確認結果となります。

また、本仕様書に記載の手段以外での税関確認結果の提供は行いませんので、ご注意ください。